

小郡市大崎の「七夕さん」

ひめこそ

媛社神社

小郡市大崎にある媛社神社（通称「七夕神社」）は、地元では親しみを込めて「七夕さん」と呼ばれています。神社の歴史は古く、和銅六（七一三）年に各国で作るように命じられた風土記（「肥前風土記」）の中に、その由来が出てきます。以来、一三〇〇年にわたって、地元の氏神として信仰されてきました。



七夕月間中は境内が短冊で美しく彩られる



獅子をかつぎ走る青年たち



神社前看板と織姫・牽牛像
夜になると天の川が輝く



今から一〇〇〇年以上前の「延喜式」という書物によるとこの地方は織物が大変盛んであり、古来織物に携わってきた人々は「棚機津女」という機織りの女神を信仰していました。この女神の信仰と中国から伝わった牽牛・織姫の物語が混然同化して、織姫の神を祀る棚機（七夕）神社として親しまれるようになったと考えられます。この織姫を祀る七夕神社と相對して、宝満川の対岸には牽牛社（老松神社内）があります。現在、この社を保存し活用するために、七夕の里振興協会が結成され活動しています。平成二十五年には光る石の天の川を、翌年には織姫・牽牛像を制作しました。

媛社神社では七月七日より七夕月間に入り、新暦八月六・七日には七夕夏祭りが行われます。

前夜（六日）のヨドでは、夕方から子ども神輿が集落を巡ります。翌日早朝からは獅子追いが集落を巡り、無病息災を祈願します。夏祭り当日に神社を参詣する人は多く、市内はもちろん遠方からの参詣者もいます。

七夕が近くなると、全国から願いが書かれた短冊が送られてきて、境内の竹笹を彩ります。

*ヨド…祭日の前夜に行われる祭りのこと。宵宮（夜宮）、コモリとも呼ばれるが、中国地方から九州にかけてはヨドと呼ぶ地域もある。



◎所在地
〒838-0127 福岡県小郡市大崎1番地

◎アクセス
西鉄小郡駅より徒歩25分
甘木鉄道大板井駅より徒歩10分
筑後小郡インターより車で15分

平成26年に制作された織姫・牽牛像
燈籠の光はイメージです

